

*Pioneer*



スペアナ MD プレーヤー

# MDS-P7000

取扱説明書

**carrozeria**

目次 4 ページ

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 警告

## [異常時の処置]

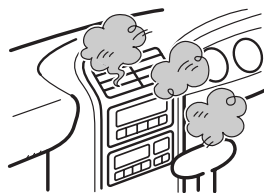
### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

- 1 本機と組み合わせるメインユニット  
について 6
- 2 メインユニット各部の名称 12
- 3 本機各部の名称 13

## ここだけでここだけ読めばすぐ使えます

- 1 MDをセットする 14  
MDをセットする  
MDを取り出す
- 2 MDのふだんの操作 16  
曲を選ぶ  
早送り/早戻しをする  
音量を調節する

## MDを聞く MDを聞く

- 1 メインユニットの  
ディスプレイ表示を切り換える 18
- 2 モードの切り換えかた 19
- 3 同じ曲を繰り返し聞く 19
- 4 いつもと違う曲順で聞く 20
- 5 聞きたい曲をさがす 21
- 6 MD再生を一時停止する 22
- 7 よく使う機能を学習させる 23

# C O N T E N T S

ここだけ読めば  
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

その他

## その他の機能と付録

- |   |                         |    |
|---|-------------------------|----|
| 1 | 本機の表示を切り換える             | 24 |
| 2 | 夜間のディスプレイの<br>明るさを切り換える | 25 |
| 3 | 本機のリセットについて             | 26 |
| 4 | 旧モデルの<br>メインユニットの機能について | 26 |
| 5 | MDの正しい使いかた              | 27 |
| 6 | こんなメッセージが表示されたら         | 28 |
| 7 | 故障かな?と思ったら              | 29 |
| 8 | 保証書とアフターサービス            | 30 |
| 9 | おもな仕様                   | 31 |

はじめに

MDを聞く

その他の機能と付録

# 本機と組み合わせるメインユニットについて

## ① 本機をMDソースとしてコントロールするメインユニット

メインユニット ① DEH-P5000

② DEH-P505/DEH-P707/DEX-P1/DEH-P700  
/DEH-P900/KEH-P303/KEH-P600/KEH-P400  
/FH-P606/FH-P404/FH-P700

本書では、メインユニットとして「DEH-P5000」の例で操作説明を行っています。「DEH-P5000」と組み合わせた場合は、14ページからの説明に従って操作を行ってください。

メインユニット②と組み合わせた場合は、「メインユニットのボタン名称」(☞ はじめに② 12ページ)を参照して「DEH-P5000」と対応しているボタンで操作を行ってください。

## ② 本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット

メインユニット ③ DEH-P500/KEH-P300

メインユニット ④ KEH-P1000

メインユニット③と組み合わせた場合は、機能対応表 [1] (☞ はじめに①)を参照して操作を行ってください。

メインユニット④と組み合わせた場合は、「KEH-P1000接続時の操作」(☞ はじめに① 8ページ)を参照して操作を行ってください。

## ③ 旧モデルのメインユニット

[本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールします。]

メインユニット ⑤ DEH-P990/DEH-P660/DEH-P550/DEX-P9  
/KEH-P880/KEH-P770/KEH-P440/KEH-P330

⑥ FH-P80M

⑦ FH-P80

⑧ AVM-P100

⑨ AVIC-XA1



⑩ DEH-P99/DEX-P7/KEH-P88/KEH-P77

⑪ KEH-P55/KEH-P44

⑫ KEH-P33

メインユニット⑤～⑧と組み合わせた場合は、機能対応表 [2] (☞ はじめに① 10ページ)を、メインユニット⑨～⑫と組み合わせた場合は、機能対応表 [3] (☞ はじめに① 11ページ)を参照して操作を行ってください。

機能対応表 [1]

機能名称	項目	DEH-P5000	メインユニット ③
ソース切り換え (☞ 16 ページ)	操作	本体	SOURCE
		リモコン	SOURCE
ファンクション モード切り換え <sup>1</sup> (☞ 19 ページ)	操作	本体	F
		リモコン	F
	動作	 REPEAT (リピート再生) RANDOM (ランダム再生) T-SCAN (スキャン再生) PAUSE (ポーズ)	 FUNC1 (表示切り換え) FUNC2 (ポーズ/ランダム再生) FUNC3 (スキャン再生) FUNC4 (リピート再生) AUTO (選曲モード切り換え)
表示切り換え (☞ 18 ページ)	モード	—	FUNC1
	操作	本体	DISPLAY
リモコン		—	▲ / ▼

▼  
次ページへつづく

メモ


14 ページからの操作説明に記載されているディスプレイ表示は「DEH-P5000」の例です。それ以外のメインユニットと組み合わせた場合は、表示が異なる場合があります。

「DEH-P500」など、本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニットは、エクスターナルユニットを2台以上コントロールすることができません。本機を接続したときは、ほかのエクスターナルユニットは接続しないでください。

エクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするユニットには、本機のほかに、DSP カセット「KDS-P500/KDS-P505」、マルチ MD「MD-P100/MD-P100II」、ボイスコントロールディスクセレクター「CD-VC50」などがあります。

「DEH-P900」と組み合わせた場合、プログラムファンクション (☞ MD を聞く 23 ページ) はありません。

リモコンで操作を行う場合は、別売のリモコン「CD-R600」を使用します。

<sup>1</sup>「DEH-P500」および「KEH-P300」は、ファンクションモードに切り換えると、モード表示 (例 “FUNC1”) が約2秒間点灯します。モード表示が消えた後は “” 表示が点滅してファンクションモードになっていることを知らせます。

メインユニット ③ DEH-P500/KEH-P300

機能対応表 [1] (つづき)

機能名称	項目	DEH-P5000	メインユニット ③
タイトルスクロール ( <small>☞</small> 18 ページ)	モード	—	FUNC1
	操作	本体	DISPLAY (2秒以上)
		リモコン	—
ポーズ ( <small>☞</small> 22 ページ)	モード	PAUSE	FUNC2
	操作	本体	▲ / ▼
		リモコン	▲ / ▼
ランダム再生 ( <small>☞</small> 20 ページ)	モード	RANDOM	FUNC2
	操作	本体	▲ / ▼
		リモコン	▲ / ▼
スキャン再生 ( <small>☞</small> 21 ページ)	モード	T-SCAN	FUNC3
	操作	本体	▲ / ▼
		リモコン	▲ / ▼
リピート再生 ( <small>☞</small> 19 ページ)	モード	REPEAT	FUNC4
	操作	本体	▲ / ▼
		リモコン	▲ / ▼
選曲モード切り換え	モード	—	AUTO/MANU
	操作	本体	◀ / ▶
		リモコン	—
動作	—	▲ AUTO (トラックサーチ) ▼ MANU (早送り / 早戻し)	

「KEH-P1000 接続時の操作」

KEH-P1000 は、エクスターナルユニットとして、本機に接続が可能ですが、「DEH-P500」などとは異なり、機能は次のように限られます。

次ページへつづく

機能名称	ボタン操作		機能名称	ボタン操作	
	本体	リモコン		本体	リモコン
ソース切り換え ( <small>☞</small> 16 ページ)	SOURCE		選曲モード切り換え	RPT	—
表示切り換え ( <small>☞</small> 18 ページ)	D	—	トラックサーチ ( <small>☞</small> 16 ページ)	◀ / ▶	
			早送り / 早戻し ( <small>☞</small> 16 ページ)	◀ / ▶	



機能名称	項目	DEH-P5000	メインユニット <sup>③</sup>	
トラックサーチ ( <sup>⑤</sup> 16 ページ)	選曲モード	—	AUTO <sup>2</sup>	
	操作	本体	◀ / ▶ <sup>2</sup>	
リモコン		◀ / ▶	◀ / ▶ <sup>2</sup>	
早送り / 早戻し ( <sup>⑤</sup> 16 ページ)	選曲モード	—	MANU <sup>3</sup>	
	操作	本体	◀ / ▶ (0.5 秒以上)	◀ / ▶ <sup>3</sup>
リモコン		◀ / ▶ (0.5 秒以上)	◀ / ▶ <sup>3</sup>	
プログラム ファンクション ( <sup>⑤</sup> 23 ページ)	1 モード に入る	本体	F (2 秒以上)	F (2 秒以上)
		リモコン	F (2 秒以上)	F (2 秒以上)
	2 機能を 選ぶ	本体	◀ / ▶	◀ / ▶
		リモコン	◀ / ▶	◀ / ▶
	動作			
	3 学習 させる	本体	▲	▲
		リモコン	▲	▲
4 操作 する	本体	—	PGM <sup>4</sup>	
	リモコン	PGM	PGM <sup>4</sup>	

メモ

- 2 選曲モードをAUTO (トラックサーチ) にし、ファンクションモードを解除してから ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
- 3 選曲モードをMANU (早送り/早戻し) にし、ファンクションモードを解除してから ◀ または ▶ ボタンを押します。

- 4 PGM ボタンを押すごとに、記憶させた機能のON/OFFまたは設定が切り換わります。FUNC1 およびFUNC2はボタンを押している時間によって機能が変わります。

時間	FUNC1	FUNC2
2 秒未満	表示切り換え	ポーズ
2 秒以上	タイトルスクロール	ランダム

# 本機と組み合わせるメインユニットについて(つづき)

メインユニット ⑤ DEH-P990/DEH-P660 /DEH-P550/DEX-P9 /KEH-P880/KEH-P770 /KEH-P440/KEH-P330  
 メインユニット ⑥ FH-P80M  
 メインユニット ⑦ FH-P80  
 メインユニット ⑧ AVM-P100

機能対応表 [2]

機能名称	項目	メインユニット⑤	メインユニット⑥	メインユニット⑦	メインユニット⑧	
ソース切り換え (E3 16 ページ)	操作	本体	SO	OO	OO	AUDIO SOURCE
		メインコン トローラー	—	SRC	—	SO
表示切り換え (E3 18 ページ)	操作	本体	7	7	7	—
		メインコン トローラー	—	—	—	1 <sup>1</sup>
タイトルスクロール (E3 18 ページ)	操作	本体	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)	—
		メインコン トローラー	—	—	—	1 (2秒以上) <sup>1</sup>
ポーズ (E3 22 ページ)	操作	本体	8	8	8	—
		メインコン トローラー	—	—	—	2 <sup>1</sup>
ランダム再生 (E3 20 ページ)	操作	本体	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)	—
		メインコン トローラー	—	—	—	2 (2秒以上) <sup>1</sup>
スキャン再生 (E3 21 ページ)	操作	本体	9	9	9	—
		メインコン トローラー	—	—	—	4 <sup>1</sup>
リピート再生 (E3 19 ページ)	操作	本体	10	10	10	—
		メインコン トローラー	—	—	—	5 <sup>1</sup>
選曲モード切り換え	操作	本体	12 (2秒以上)	12 (2秒以上)	12 (2秒以上)	—
		メインコン トローラー	—	—	—	3 <sup>1</sup>
トラックサーチ (E3 16 ページ)	操作	本体	◀ / ▶	◀ / ▶	◀ / ▶	—
		メインコン トローラー	◀◀ / ▶▶ <sup>2</sup>	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶
早送り / 早戻し (E3 16 ページ)	操作	本体	◀ / ▶	◀ / ▶	◀ / ▶	—
		メインコン トローラー	—	—	—	◀◀ / ▶▶

メモ

1 MENU ボタンを押して、ソースメニュー画面にしたときだけ働きます。  
 2「DEH-P550」、「KEH-P330」では別売のリモコン「CD-R600」で操作します。

上記のメインユニット (旧モデル) にはファンクションモードおよびプログラムファンクションはありません。

メインユニット<sup>9</sup> AVIC-XA1  
 メインユニット<sup>10</sup> DEH-P99/DEX-P7/  
 KEH-P88/KEH-P77

メインユニット <sup>11</sup> KEH-P55/KEH-P44  
 メインユニット <sup>12</sup> KEH-P33

機能対応表 [3]

機能名称	項目	メインユニット <sup>9</sup>	メインユニット <sup>10</sup>	メインユニット <sup>11</sup>	メインユニット <sup>12</sup>	
ソース切り換え ( <sup>15</sup> 16 ページ)	操作	本体	AV SOURCE	SO	SOURCE	SOURCE
		メインコン トローラー	—	—	—	—
表示切り換え ( <sup>15</sup> 18 ページ)	操作	本体	—	7	7	7
		メインコン トローラー	CR	—	—	—
タイトルスクロール ( <sup>15</sup> 18 ページ)	操作	本体	—	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)
		メインコン トローラー	CR (2秒以上)	—	—	—
ポーズ ( <sup>15</sup> 22 ページ)	操作	本体	—	8	8	8
		メインコン トローラー	A	—	—	—
ランダム再生 ( <sup>15</sup> 20 ページ)	操作	本体	—	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)
		メインコン トローラー	A (2秒以上)	—	—	—
スキャン再生 ( <sup>15</sup> 21 ページ)	操作	本体	—	9	9	9
		メインコン トローラー	B	—	—	—
リピート再生 ( <sup>15</sup> 19 ページ)	操作	本体	—	10	10	10
		メインコン トローラー	C	—	—	—
選曲モード切り換え	操作	本体	— <sup>1</sup>	12 (2秒以上)	— <sup>1</sup>	— <sup>1</sup>
		メインコン トローラー	— <sup>1</sup>	—	— <sup>1</sup>	— <sup>1</sup>
トラックサーチ ( <sup>15</sup> 16 ページ)	操作	本体	—	—	◀ / ▶	◀ / ▶
		メインコン トローラー	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶ <sup>2</sup>	—
早送り / 早戻し ( <sup>15</sup> 16 ページ)	操作	本体	— <sup>1</sup>	—	— <sup>1</sup>	— <sup>1</sup>
		メインコン トローラー	— <sup>1</sup>	◀◀ / ▶▶	— <sup>1</sup>	— <sup>1</sup>

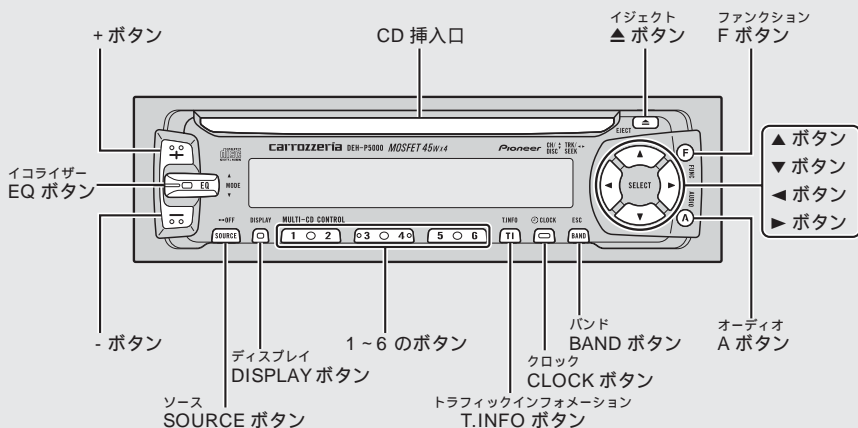
メモ

1「AVIC-XA1」、「KEH-P55」、「KEH-P44」、  
 「KEH-P33」では早送り/早戻しはできません。  
 2「KEH-P44」では別売のリモコン「CD-R600」  
 で操作します。

上記のメインユニット (旧モデル) にはファンク  
 ションモードおよびプログラムファンク  
 ションはありません。

## メインユニットのボタン名称

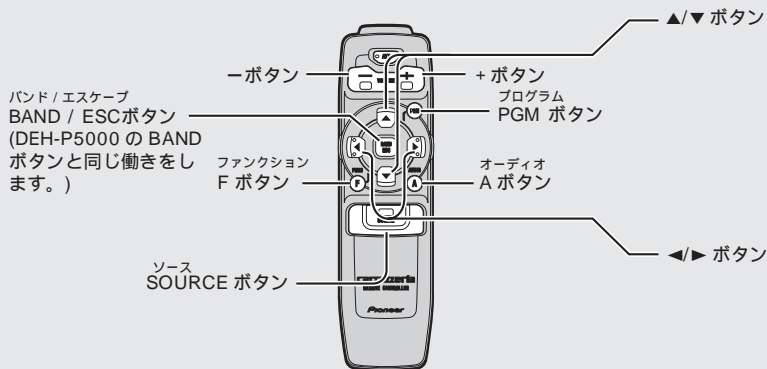
例: 「DEH-P5000」



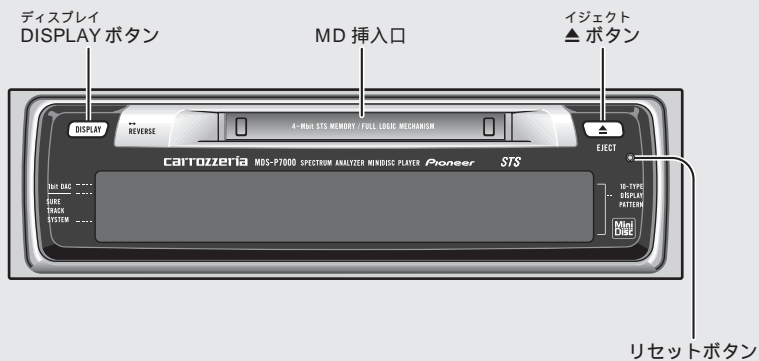
## リモコンのボタン名称

例: 「CD-R600」

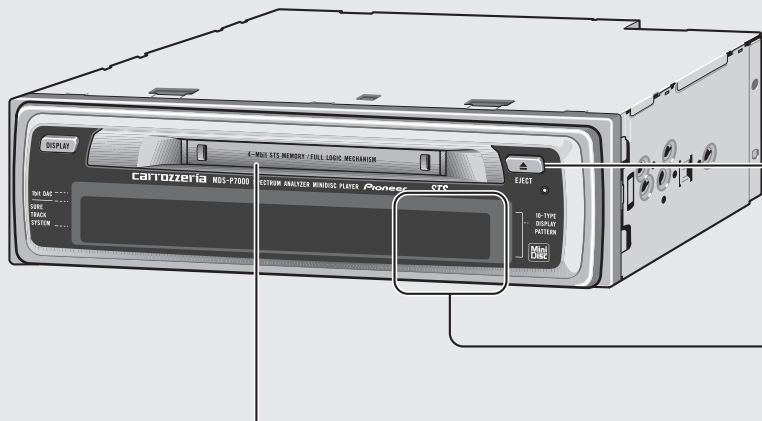
別売のリモコンで、メインユニットを操作することができます。  
 メインユニットに付属しているリモコンは、ボタンの種類が異なる場合があります。  
 リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



## 本機: MDS-P7000

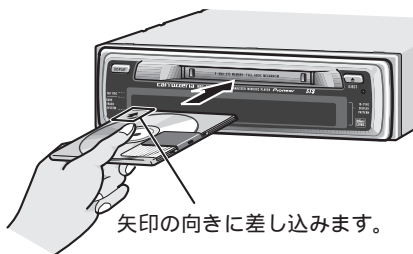


まず最初にMDをセットして下さい。



## 1 MDをセットする

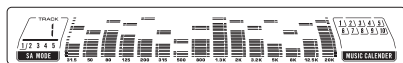
MDのラベル面を上にして、  
MD挿入口に差し込む  
自動的にMDがセットされ、再生を始めます。



矢印の向きに差し込みます。

MDのシャッターが閉まっていることを  
確認してから差し込んでください。

本機のディスプレイ  
MDをセットすると自動的に表示されます。



「DEH-P5000」のディスプレイ  
MDをセットすると自動的にディスク名や  
曲名が表示されます。



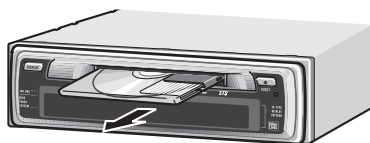
### メモ

MDを挿入すると、本機は、MDから曲数などの情報を読みとります。この間、メインユニットには、「TOC READ」が表示されます、

## 2 MDを取り出す

▲ ボタンを押す

MDが出てきて、電源がOFFになります。



## ミュージックカレンダーについて

MDに録音されたトータルの曲数や再生中の曲番号を表示します。

1～19曲に対応



20曲以上あるときに表示されます

再生状態によって表示のしかたが次のように変わります。

ふだんの再生 (☞ ここだけで② 16 ページ)  
またはスキャン再生 (☞ MDを聞く⑤ 21 ページ) をすると...

再生中の曲番号が点滅します。

例：トータル曲数が11曲のMDの3曲目を再生中



リピート再生 (☞ MDを聞く③ 19 ページ) をすると...

リピート再生を指定した曲番号のみが点滅します。

例：3曲目をリピート再生中



ランダム再生 (☞ MDを聞く④ 20 ページ) をすると...

MD内すべての曲番号が点灯し、再生中の曲番号が点滅します

例：3曲目をランダム再生中



# ここだけで MD のふだんの操作

曲を選ぶ 早送り/早戻しをする

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

## 1 ソースを 1 枚型 MD にする

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとにソースが切り換わります。  
1 枚型 MD になるまでボタンを繰り返し押し  
てください。

MD の再生が始まります。



## 2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

### メモ

「DEH-P5000」以外のメインユニットをお使いの場合は、「本機と組み合わせるメインユニットについて」(P.38 はじめに① 6 ページ)を参照して操作を行ってください。

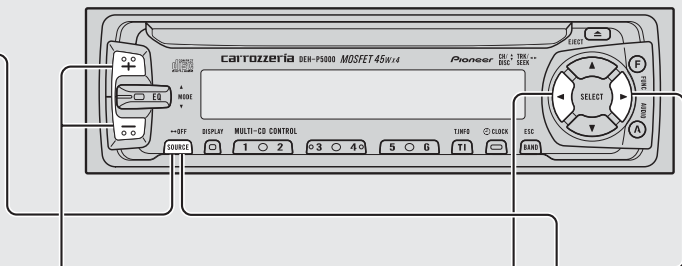
録音・編集を繰り返し行った MD を再生中に、曲の早送り/早戻しを行うと、音かとぎれることがあります。



## 音量を調節する

ソース切り換え/トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 音量を調節する

- + または - ボタンを押す
- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

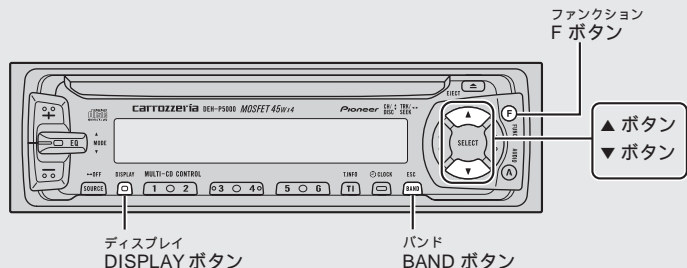


0~30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 4 MDの再生をやめる

- SOURCE ボタンを押す  
ほかのソースに切り換えてください。
- または、SOURCE ボタンを1秒以上押す  
電源がOFFになります。



## MDを聞く 1

# メインユニットのディスプレイ表示を切り換える

## ディスプレイ表示切り換え/タイトルスクロール

MD再生中には、「曲番号」「再生経過時間」「ディスク名」「曲名」を表示することができます。

### 表示切り換え

### タイトルスクロール

## 1 ディスプレイ表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

曲番号/再生経過時間表示



ディスク名表示



曲名表示



曲番号/再生経過時間表示に戻る

「DEH-P500」や「KEH-P1000」など、本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット (☞ はじめに ① 6 ページ) をお使いの場合は、次のように表示が切り換わります。  
曲番号 (TR 1) 再生経過時間 ディスク名  
曲名 曲番号 …

ディスク名や曲名は、ディスプレイに10文字 までしか表示されませんが、隠れている文字を順に表示させることができます。

## 1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。

### メモ

組み合わせるメインユニットによっては8文字までしか表示できない場合があります。

再生経過時間表示は、リピート、ランダム、スキップ再生を行うと、それぞれのモード状態を示す表示が変わります。

ディスク名や曲名がカナで入力されている場合は、ローマ字で表示され、名前の最初と最後に“^”または“-”が入ります。(名前の途中にも“^”または“-”が入る場合があります。)

ディスク名や曲名がアルファベットの小文字で入力されている場合は、大文字で表示されます。

「FH-P700」など、カナ文字に対応しているメインユニットをお使いの場合は、カナや小文字がそのまま表示されます。

ディスク名がMDに記録されていない場合は、ディスク名表示が“NO D-DATA”になります。曲名がMDに記録されていない場合は、曲名表示が“NO TR-DATA”になります。

MDを聞く

2

## モードの切り換えかた

モード切り換え

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### 1 ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (MDを聞く②)

ランダムモード (MDを聞く④ 20 ページ)

スキャンモード (MDを聞く⑤ 21 ページ)

ポーズモード (MDを聞く⑥ 22 ページ)

最初に戻る

#### メモ

ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。  
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

MDを聞く

3

## 同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

### 1 リピートモードにする

Fボタンを押して選ぶ (MDを聞く②)

### 2 リピート再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



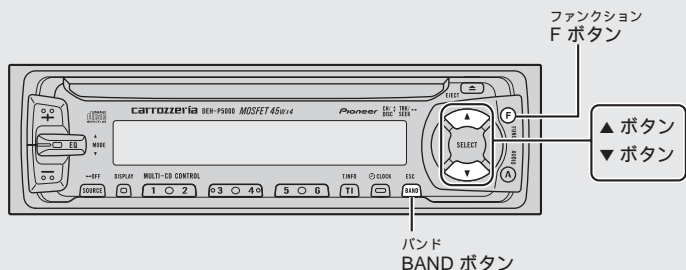
今聞いている曲を繰り返し再生します。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

MDを聞く



MDを聞く  
4

## いつもと違う 曲順で聞く

### ランダム再生

選曲をMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

#### 1 ランダムモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
( MDを聞く ② 19 ページ)



#### 2 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。


BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

## 1 スキャンモードにする

F ボタンを押して選ぶ  
( MDを聞く ② 19 ページ)



## 2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

## 3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

### 確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

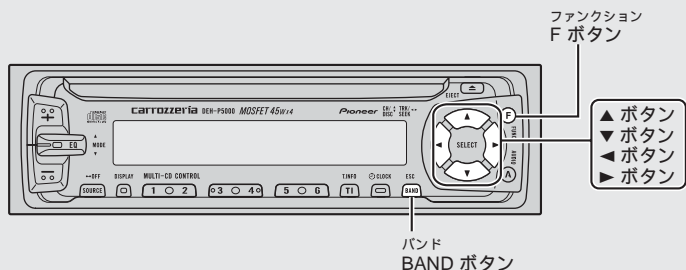
スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。



## MDを聞く 6 MD再生を一時停止する

ポーズ

MD再生を一時停止することができます。

### 1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
( MDを聞く ② 19ページ)



### 2 MD再生を一時停止する

▲ボタンを押す (▼ボタンで再生)



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

## よく使う機能を学習させる

## プログラムファンクション

よく使う機能を、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ポーズが学習されています。)

## 1 プログラムファンクション設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

## 2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)

REPEAT (リピート)

RANDOM (ランダム)

## 3 選んだ機能を学習させる

▲ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

BANDボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

## 4 学習させた機能进行操作する

PGMボタンを押す

(☞ はじめに② 12ページ)

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	—
リピート	ON/OFF	—
ランダム	ON/OFF	—

### メモ

メインユニット本体にPGMボタンがない場合は、リモコンで操作します。

ディスプレイ  
DISPLAY ボタン



その他  
1

## 本機の表示を切り換える

表示切り換え

本機は、「ピークバウンド」「シンメトリー」「ピークレベル」「ラディエーション」「ワインディングロード」の5つの表示があります。それぞれの表示は、簡単に切り換えることができます。

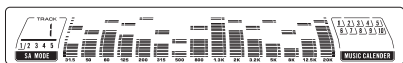
### 1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

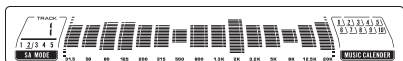
#### ①ピークバウンド表示

各周波数の音の強さを高さであらわし、最高値を一時的に保持する表示をします。



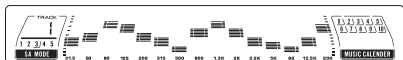
#### ②シンメトリー表示

各周波数の音の強さを幅で表示します。



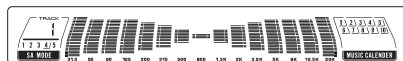
#### ③ピークレベル表示

各周波数のピークレベルを表示します。



#### ④ラディエーション表示

音の強さを放射線状に表示します。



#### ⑤ワインディングロード表示

ワインディングロードを走行しているようなイメージの表示をします。125 Hzの音の強さにより、速さが変化します。



#### ①ピークバウンド表示に戻る



## 表示切り換え(つづき)

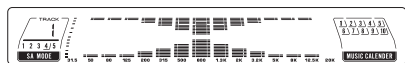
### スぺアナ反転表示について

スぺアナ反転表示は、「ピークバウンド表示」「シンメトリー」「ピークレベル」「ラディエーション」「ワインディングロード」のスぺアナ表示の明暗を反転させる機能です。

## 1 スぺアナ反転表示をする

DISPLAY ボタンを2秒以上押す

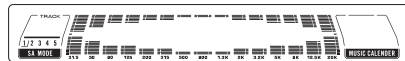
例：ラディエーション表示の反転



もう一度DISPLAY ボタンを2秒以上押すと通常の表示に戻ります。

### デモンストレーション表示について

本機の電源がON状態のときに、カセットテープの無音部分のように、スぺアナの動かない状態が約20秒続くと、ディスプレイがデモンストレーション表示に切り換わります。



### メモ

本機を操作したり、もう一度音楽などが始まると、デモンストレーション表示が解除され、前の表示に戻ります。

その他  
2

## 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

## 1 車のエンジンを切る



## 2 ディマーの設定をOFFにする

本機のDISPLAY ボタンを押しながらイグニッションスイッチをACCまたはONにする。



操作を行うごとにディマーの設定がON/OFFします。

### メモ

初期設定はディマーON (車のライトをONにするとディスプレイが暗くなる) に設定されています。

その他  
3

## 本機のリセットについて

### リセット

本機のマイコンを初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻すことができます。

#### リセットをする

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

## 1 本機をリセットする

ペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

その他  
4

## 旧モデルのメインユニットの機能について

「DEH-P990」など、旧モデルのメインユニット（E※ はじめに① 6ページ）の各機能は次のようになります。

#### 旧ユニットの機能

### サウンドスケープ

MD（エクスターナルユニット）再生中は、ミュージック（曲中）モードのサウンドスケープ再生を行うことができます。プログラム（1 by 1）モードには切り換わりません。

### サウンドフィールドコントロール（SFC） / イコライザー / トーン（バス / ミッド / トレブル）

サウンドフィールドコントロール（SFC）、イコライザー、トーン（バス/ミッド/トレブル）をソースごとに設定できるメインユニットの場合、MD（エクスターナルユニット）はAUX（外部機器）と同じ設定になります。

### ソースレベルアジャスター（SLA）

MD（エクスターナルユニット）は1つのソースとして単独に設定することができます。

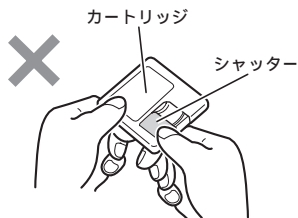
#### メモ

本機をMDソースとしてコントロールするメインユニット（E※ はじめに① 6ページ）の上記の機能については、メインユニットの取扱説明書をご覧ください。

本機をエクスターナルユニット（EXT）としてコントロールするメインユニット「DEH-P500/KEH-P300」には上記の機能はありません。

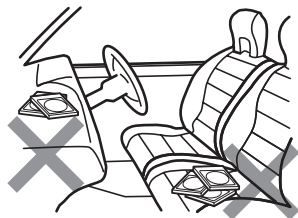
## 取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



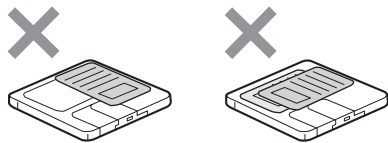
## 保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

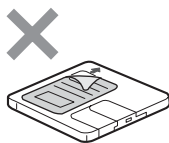


## ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかけたり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



## お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



## 寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができません。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは柔らかい布で拭いてください。

## こんなメッセージが表示されたら

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「NO D-DATA」 「NO DNAME」	ディスク名が入力されていないMDを再生中にディスク名表示に切り換えたとき。	ディスク名表示以外の表示に切り換えてください。 (☞ MDを聞く① 18ページ)
「NO TR-DATA」 「NO TNAME」	曲名が入力されていない曲を再生中に曲名表示に切り換えたとき。	曲名表示以外の表示に切り換えてください。(☞ MDを聞く① 18ページ)
「HEAT」 「MD HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR 11、12、17、30」 「MD ERR 11、12、17、30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 20、21」 「MD ERR 20、21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	
「ERROR 22、24」 「MD ERR 22、24」	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 23」 「MD ERR 23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR 01、11、12、17、30、A0」 「MD ERR 01、11、12、17、30、A0」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR A1」 「MD ERR A1」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押し(☞ その他② 26ページ)もう一度MD再生にしてください

### TOCについて

TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどで音声信号以外の曲数、演奏時間、タイトルなどの情報のことです。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？  
と思ったら  
修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。



チェックしても  
直らないときは  
本機をリセットしてくだ  
さい。(☞ その他③ 26  
ページ)



それでも  
直らないときは  
保証書とアフターサービ  
ス(☞ その他③ 30ページ)  
をお読みになり、修理を  
依頼してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	メインユニットの音量を 下げている。	メインユニットの音量を上げてください。
大きな雑音が出る。 再生がストップしてし まう。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴が付い ている。	
	録音されてないMDを挿入 した。	
	MDが正しい方向に挿入さ れていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入して ください。(☞ ここだけで① 14ページ)
AVIC-XA1、KEH-P55、 KEH-P44またはKEH-P33 と組み合わせているとき に、◀▶/▶▶ ボタンでト ラックサーチができない。 (早送り/早戻し動作になっ てしまう。)	本機のマイコンが誤動作し ている。	本機のリセットボタンを押してください。 (☞ その他③ 26ページ)

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号はメインユニットに付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 0.5 A
外形寸法	
	(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 155 (D) mm
	(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 13 (D) mm
質量	: 1.0 kg (コードユニット含まず)

## 付属品

コードユニット	: 1
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1

## MD プレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタル オーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号	
	フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz 量子化ビット数 : 16ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 92 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック	
	レンジ : 91 dB (1 kHz)
出力レベル	: 1 V (1 kHz, 0 dB)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

本機は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

## メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

## お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

### お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。  
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99A00F0R01 > < CRA2716-A >